

5月23日の弊社ファンドの基準価額下落について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2013年5月23日、弊社運用ファンドの一部において、基準価額が前日比で5%超下落しました。以下に該当ファンドおよび基準価額の下落要因についてお知らせいたします。

1. 2013年5月23日時点で基準価額が前日比で5%超下落した公募投資信託

ファンド名	基準価額	前日比	前日比騰落率
業種別インデックス・セレクト・ファンド (Mコース (金融・保険))	3,994円	-465円	-10.4%
レインボーファンド (ファイナンシャル・情報株ファンド)	3,656円	-363円	-9.0%
業種別インデックス・セレクト・ファンド (Nコース (不動産関連))	5,672円	-486円	-7.9%
中国・四国インデックス ファンド	8,872円	-722円	-7.5%
積立て株式ファンド	226円	-18円	-7.4%
株式インデックス 225	5,191円	-409円	-7.3%
野村インデックスファンド・日経225	14,983円	-1,179円	-7.3%
ミリオン (インデックスポートフォリオ)	5,036円	-396円	-7.3%
野村 日経225 オープン	7,235円	-568円	-7.3%
京都・滋賀インデックス ファンド	8,660円	-674円	-7.2%
日本低位株ファンド	11,193円	-862円	-7.2%
業種別インデックス・セレクト・ファンド (Dコース (化学))	7,027円	-538円	-7.1%
野村バリュー・フォーカス・ジャパン	10,337円	-779円	-7.0%
ストラテジック・バリュー・オープン (野村SMA向け)	15,260円	-1,147円	-7.0%
ストラテジック・バリュー・オープン	15,364円	-1,152円	-7.0%
業種別インデックス・セレクト・ファンド (Fコース (石油・非鉄関連))	3,792円	-282円	-6.9%
野村リアルグロース・オープン	13,216円	-978円	-6.9%
レインボーファンド (情報エレクトロニクスファンド)	8,148円	-602円	-6.9%
野村インデックスファンド・TOPIX	14,320円	-1,054円	-6.9%
野村日本株インデックス (野村投資一任口座向け)	9,756円	-718円	-6.9%
トピックス・インデックス・オープン	5,140円	-378円	-6.9%
東北インデックス ファンド	7,183円	-527円	-6.8%
野村アクティブ・アロケーション・ファンド 日本株コース	11,702円	-858円	-6.8%
ニューセンチュリー オープン	9,394円	-688円	-6.8%
ノムラ日本株戦略ファンド	6,897円	-505円	-6.8%
ノムラ日本株戦略ファンド (野村SMA向け)	10,678円	-781円	-6.8%
業種別インデックス・セレクト・ファンド (Gコース (鉄鋼・造船・金属))	3,657円	-267円	-6.8%
リサーチ・アクティブ・オープン	8,517円	-617円	-6.8%
リサーチ・アクティブ・オープン (野村SMA向け)	8,412円	-606円	-6.7%
九州インデックス ファンド	7,726円	-555円	-6.7%
ノムラ・ジャパン・オープン (野村SMA向け)	7,141円	-512円	-6.7%
ノムラ・ジャパン・オープン	6,458円	-463円	-6.7%

- ・ 騰落率は、収益分配金(課税前)を分配時にファンドへ再投資したものと計算した騰落率です。
- ・ ファンドによって、投資対象市場の基準価額への反映タイミングが異なります。
- ・ 公募投資信託のうち、DC(確定拠出年金)、ETF(上場投資信託)、協会分類の特殊型(ブル・ベア型)ファンドは除外しております。

当資料は参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込んだりいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

【ご参考資料】

ファンド名	基準価額	前日比	前日比騰落率
業種別インデックス・セレクト・ファンド (0コース (公益))	5,691円	-407円	-6.7%
レインボーファンド (公共株ファンド)	8,127円	-577円	-6.6%
レインボーファンド (市況産業ファンド)	6,551円	-465円	-6.6%
小型ブルーチップオープン	7,077円	-498円	-6.6%
業種別インデックス・セレクト・ファンド (Iコース (電機))	8,076円	-568円	-6.6%
業種別インデックス・セレクト・ファンド (Hコース (機械・精密))	7,974円	-557円	-6.5%
スーパートレンドオープン	3,780円	-263円	-6.5%
オーロラファンド (日本投資ファンド)	4,652円	-319円	-6.4%
野村RAFI (R) 日本株投信	8,415円	-576円	-6.4%
北陸・北海道インデックス ファンド	9,000円	-613円	-6.4%
レインボーファンド (株主還元成長株ファンド)	4,147円	-281円	-6.3%
関東・甲信インデックス ファンド	8,377円	-560円	-6.3%
野村日本割安好配当株投資0805	9,858円	-658円	-6.3%
野村日本スマートシティ株投資	13,453円	-879円	-6.1%
高配当割安株ジャパン (限定追加型)	9,768円	-635円	-6.1%
野村日本真小型株投信	13,976円	-902円	-6.1%
東海三県インデックス ファンド	10,837円	-699円	-6.1%
野村小型株オープン	7,800円	-502円	-6.0%
業種別インデックス・セレクト・ファンド (Jコース (自動車関連))	10,873円	-691円	-6.0%
業種別インデックス・セレクト・ファンド (Lコース (小売・サービス))	6,463円	-409円	-6.0%
ノムラ・ジャパン・バリュー・オープン	8,712円	-543円	-5.9%
ノムラ・ジャパン・バリュー・オープン (野村SMA向け)	7,480円	-465円	-5.9%
業種別インデックス・セレクト・ファンド (Aコース (建設))	4,288円	-265円	-5.8%
業種別インデックス・セレクト・ファンド (Kコース (商社))	9,501円	-574円	-5.7%
好配当日本株式オープン	9,133円	-536円	-5.5%
日本好配当株投信	10,111円	-585円	-5.5%
ミリオン (ジャパン ドリーム ポートフォリオ)	30,701円	-1,696円	-5.2%
野村日本不動産投信	5,444円	-297円	-5.2%
業種別インデックス・セレクト・ファンド (Gコース (繊維・紙パルプ))	3,381円	-181円	-5.1%
業種別インデックス・セレクト・ファンド (Bコース (食品・水産))	7,005円	-375円	-5.1%
J-REITオープン	11,552円	-614円	-5.0%
野村インデックスファンド・J-REIT	15,546円	-823円	-5.0%

- ・ 騰落率は、収益分配金(課税前)を分配時にファンドへ再投資したものと計算した騰落率です。
- ・ ファンドによって、投資対象市場の基準価額への反映タイミングが異なります。
- ・ 公募投資信託のうち、DC(確定拠出年金)、ETF(上場投資信託)、協会分類の特殊型(ブル・ベア型)ファンドは除外しております。

当資料は参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申し込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

【ご参考資料】

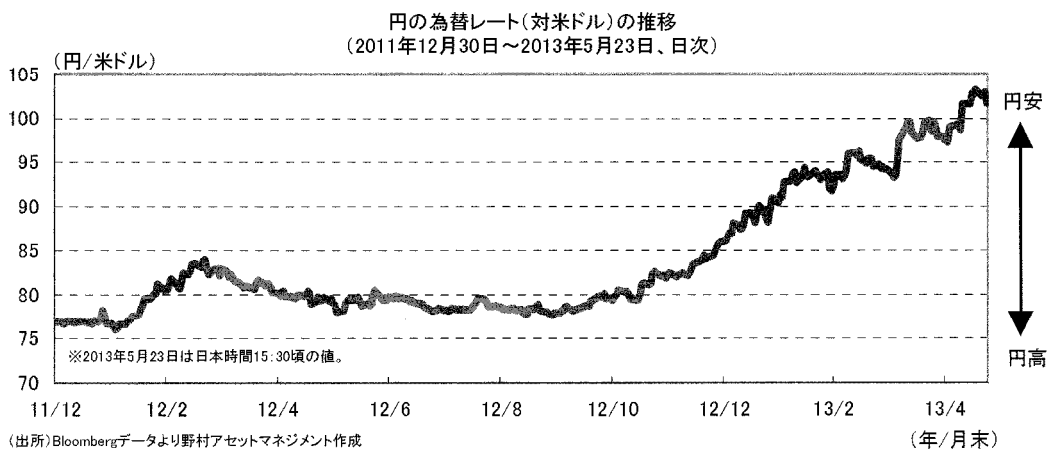
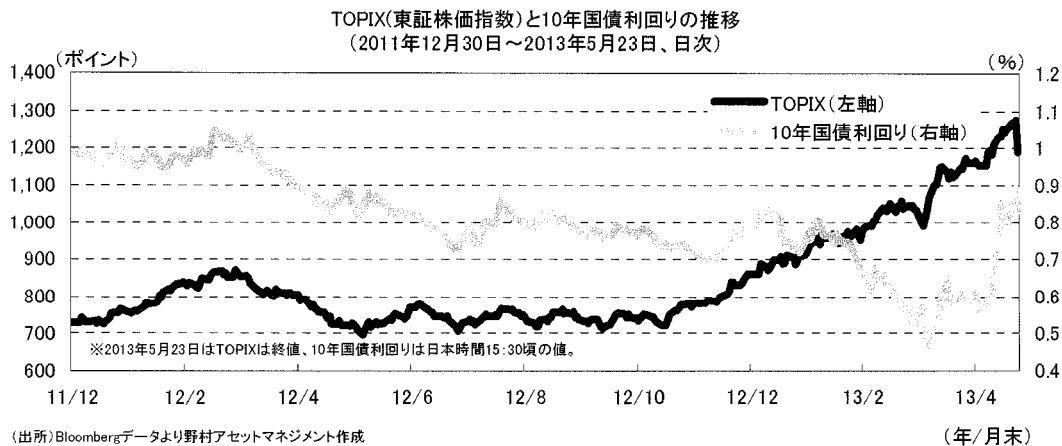
2. 主な基準価額の下落要因となった市場環境について

前日に終値ベースでリーマンショック後の高値を更新していた日本株式は、23日大幅反落し、TOPIX(東証株価指数)で前日比6.9%の下落率となりました。朝方は円安を受けて買い優勢で始まりましたが、昼前に英金融大手HSBCが発表した中国の5月の製造業PMI(購買担当者景気指数)速報値の悪化を受け、円の対米ドルレートの急反発(円高)とともに、株式への利益確定売りが膨らみました。

昨年11月半ばの野田前首相の衆議院解散表明後、日本株式は円安米ドル高が進むなかで上昇基調を強め、2012年11月14日以降、昨日22日までのTOPIXの上昇率は76%超に達していました。今年4月の日本銀行の追加金融緩和以降、10年国債利回りの変動幅が大きくなり、足元では利回りが急騰するなかでも、株式市場の上昇は続いていました。

23日は株式市場の急落を受けてREIT市場も大幅に下落し、東証REIT指数の下落率は前日比5.2%となりました。

<市場環境>



当資料は参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込んだりいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

【ご参考資料】

【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。

したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

2013年5月現在

<p>ご購入時手数料 《上限4.2%（税込み）》</p>	<p>投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時（および償還時）に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。</p>
<p>運用管理費用（信託報酬） 《上限2.121%（税込み）》</p>	<p>投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。</p>
<p>信託財産留保額 《上限0.5%》</p>	<p>投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。</p>
<p>その他の費用</p>	<p>上記の他に、「組入価値証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 373 号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資信託のリスクやお申込みメモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込んだくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

リーフレット等補完書面

このリーフレットは投資信託の広告物と一体化させてお渡ししています。

【投資信託に関するご注意事項】

- ・ 投資信託は預金、保険契約ではありません。
- ・ 投資信託は預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ・ 当金庫が取り扱う投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- ・ 投資信託の設定・運用は委託会社が行います。
- ・ 投資信託は元本および利回りの保証はありません。
- ・ 投資信託は、組入れ有価証券等の価格下落や組入れ有価証券等の発行者の信用状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、元本欠損が生ずることがあります。また、外貨建て資産に投資する場合は、為替相場の変動等の影響により、基準価額が下落し、元本欠損が生ずることがあります。
- ・ 投資信託の運用による利益および損失は、ご購入されたお客様に帰属します。
- ・ 投資信託には、換金期間に制限のあるものがあります。
- ・ 投資信託の取得のお申込に関しては、クーリングオフ(書面による解除)の適用はありません。
- ・ 投資信託をご購入にあたっては、あらかじめ最新の投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面等を必ずご覧下さい。投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面等は当金庫本支店にご用意しています。
- ・ 当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

商号等	岡崎信用金庫 登録金融機関
	東海財務局長(登金)第30号
加入協会	日本証券業協会